



会員数 30人

北九州プロバスケットクラブ月報

つながり

No. 194

令和5年1月号

2023. 1. 17



あけましておめでとうございます

会長 植田佐世子

私たちは皆、年明けは“縁起の良い”ことを好みます。日頃はあまり足を運ばない神社にお参りし、無理なお願いをし、願いに見合わない額のお賽銭を上げ、お神籤に期待します。テレビの占いコーナーも日頃より真剣に見て、今年は去年みたいに争いや揉め事が起きない年だって! と一安心します。そして縁起の良い料理を食べて、「あ〜幸せ」と…。

でも本当の「幸せ」はあの多岐にわたる卓話を眠らないで聞ける、都合よく私たちは年寄りだとか素人だからそんな難しいこと言わないで! なんて言い訳するも「負けるもんか!!」とめげない、まだまだ知りたいことが沢山ある、同じ趣味を持つ仲間と技術を磨きたい、あっちが悪いこっちが悪いと言っている割に元気。これこそが「幸せ」なのではないでしょうか。「感じる心の持ち主」に「良いこと」も「幸せ」も隣り合わせてくれるのでは…。プロバスケットクラブにそれを求めてもいいかもしれません。

例会委員会

新年の抱負

委員長 大石照志

企画委員会から例会委員会に再編成され、担当項目も委員の人数も14人に増え大変重要な役割を持った委員会になりました。「みんなが主役みんなが脇役」をモットーに全員参加型の明るく楽しい例会運営の在り方を協議し企画提案をして参りたいと思います。例会委員会になってからは多様な活発な意見が出ますので、これからのプロバス例会が気持ちの良い楽しい会になるように委員全員で努力していきたいと思います。

交流委員会

新年の抱負

委員長 近藤哲生

以前の活性化委員会に加え、親睦委員会の要素と同好会の育成という一見異質のテーマに私自身戸惑っている。

- ① 会員増強⇒当会にとって喫緊の課題であることを理解してもらいたい。クラブ員全員が共通認識を持って頂かないと、一歩前には進めないからだ。外部へ積極的にアピール(奉仕活動・HPの活用・イベント参加等)するよう取り込んでいく。
- ② 親睦行事の計画と運営⇒会員の意見をよく聴き、より楽しい行事にするため年間計画を作成する。
- ③ 同好会育成⇒会員同士が心をうちとける場所であるから、楽しく有意義な会にしていきたい。常に何か新しい同好会を意識する必要あり。

暗中模索だが、委員会同士の様々な意見を引き出しながら、当委員会としては穏やかな雰囲気づくりを心掛けたい。ただ改善すべきは果断に意見具申していく委員会でありたい。

広報委員会

新年の抱負

委員長 内藤康子

今回の委員会再編成で広報委員会は、他委員会と異なり名称、担当内容もほぼ従来通り。

そこで、内外にクラブを広く知らしめるという広報の役目に加え、その歴史を記録するために月刊「つながり」や会報「Rink」を、このコロナ禍の中で滞りなく発行し続けて行くことだと思っている。

会員の増加がクラブの喫緊の課題ではあるが、会員の高齢化や減少に歯止めはかからない。新会員の入会も会員の努力に比して、思うようには行っていない。クラブのPR方法としてホームページも開設しているが、顕著な成果は出ていない現状がある。

それでも「楽しくなければプロバスではない」をモットーに、会員の皆さんのパワーと行動力を信じ、兎年のうさぎならぬ亀のようにゆったりと確実に歩んで行かなくてはと考えている

令和 4 年 4 月で開園 20 周年を迎えた到津の森公園。その 4 月から園長に就任された梅崎さん、飼育員の手になるカレンダーが毎年好評だと話を始められた。

まずは動物園の歴史について。約 5 千年前の古代エジプトで王侯貴族が珍しい動物等を飼育したのが始まりで、市民のための動物園は 1752 年にオーストリアで初めて開園したという。近代動物園は 1828 年ロンドン動物園に始まり、日本では 1882 年上野動物園が魁という。当初は公設が多かったが徐々に民営も増えてきて、現在に至っているようだ。1900 年ドイツでは檻のない動物園が出現し、以来展示は檻無しの方へ進んでいる。同園でも象やライオン、シマウマ等は深い堀を作って柵をなくし、樹木を植えた広い場所で公開している。岩山好きの山羊のため再現した岩山の「山羊の橋渡り」も来園者に好評だそうである。



続いて動物園の役割について。まずは種の保存である。ブリーディングローン(他の動物園へ移動させて繁殖させる)という方法で、チンパンジーやキリンなどで種の繁殖を行っている。次は教育・環境教育の役割を担っていること。世界の環境問題を取り上げ、きっかけ作りをしている(イベントの一つ、オームの幸せプロジェクト等)。また、独自の学習プログラムを組み、市内の小学校がそのプログラムを選択、応募してもらうもので、年間40校が参加して人気という。続いて調査・研究である。まず、①生態をよく知ること ②動物がどうすれば健康で幸せに過ごせるかを考える。動物にもプライバシーが必要で、ライオン舎等隠れ場所作りを工夫している。③緑を増やし寒い時にはヒーターなど入れ動物福祉にも配慮している。終わりは支援について。寄付は餌(主にコメ、野菜等)や植樹(我がクラブも2010年以来毎年実施、感謝の言葉を頂く)をして貰うこと。それに飼育グループ、えさグループと多彩なボランティア団体が活動している。樹木に名札をつけたり、広報紙の作成等も。「到津のちからの会」は、閉園の際 26 万人もの署名を集めた 13 団体が中心になり、20 年間ずーっと支援受けていると…。私たちにも末永い支援をお願いします…と話を結んだ。

現役の頃、あるのが当然と思っていた動物園が閉園と聞いてショックだったことが蘇ってきた。運営母体や市民の努力と協力で存続し、到津の地にこれからもあり続けることを願っている。(内藤)

12 月例会報告

いつものように中山会員のストレッチ運動で開始、自宅でも行っている運動をさらに会員向けに工夫されているようだ。久しぶりの新入会員の紹介で、紹介者の近藤哲会員が「周防学舎の講座生に私から入会を勧めることは多いのですが、ご本人からの希望は初めてでした」と紹介し、山下静江新会員が挨拶。大学の名誉教授とは思えぬ、気さくなしゃべりで、タフで何事にも積極的な印象を受けた。会員の動向では谷口会員の退会が報告された。

卓話は、令和 4 年4月から到津の森公園園長に就任した梅崎淳一氏がスライドを使って、動物園の歴史や動物の生態などを紹介、「霜降りの肉は動物には与えません、体に悪いからです」と、わが身を振り返り、ちょっぴり反省。

全日本協議会報告では古賀靖子会員が無事、会長職の引継ぎを終え、幹事長だった松本会員とも全日本の顧問に委嘱されたと説明、事務局会議のメンバー4人に慰労の拍手を送った。

ショートスピーチは神田会員の絶妙トークが、大いに笑いを誘い、各委員会報告では新年会でのプレゼントを忘れないでと改めて注意を促し、最後に植田会長から会費納入のお願いをした。(安高)





座右の銘

No.70 中山正英会員

座右の銘である「なんとかなるさ」と、酷似した題名「なんとかなる」の連載随筆が、購読紙に今月から始まった。キリスト教会牧師で困窮者支援NPO法人抱樸の代表でもある奥田知志氏によるものである。

健康診査で心臓の病気が複数見付き、命に関わる病気であり、健康への自信が崩れて不安と恐怖感で、気持ちがざわつき不安定になった。銘は小心者の私がすぎる気持ちで愛読書からヒントを得てやっと見いだしたものである。

銘と酷似していることに戸惑ったが、「さ」の有無で、ニュアンスがかなり異なることに気づいた。奥田氏の方は「さ」が無く、言い切っている。確信的で力強い。私の方は意味合いが多少弱い。当初「さ」の有無を拘泥し、気になったが、日が経つに連れその感が薄まってきた。いささか拙速だがその時の状況に応じて柔軟に使い分ければ良いと結論した。いずれにしろ銘を有することで自己肯定感が増し自分は勿論、人にも優しくなれる。優しくなければ生きる資格がないと作家レイモンド・チャンドラーの言葉さえある。

歴史文学講座

松本清張記念館学芸担当主任中川里志さんを講師に、12月27日10時から同記念館で開催された。清張が古代史にどう向き合いながら作家活動が続けてきたか、4回シリーズの最終回は、門司の和布刈神事など郷土の歴史遺産がふんだんに登場する「時間の習俗」をベースに、清張が①推理小説と民俗学・古代史との融合②旅とミステリーの新鮮な組合せ③時代の世相を映す作品一などに挑戦していたことを学んだ。

今回は1月24日同記念館で。講師は九州女子大学非常勤講師の轟良子さん。「森林太郎を文豪・鷗外に育てた五人の女と小倉」です。乞うご期待!(松本)



日本酒の会



12月15日に佐賀県鹿島へ酒蔵巡りのツアーに行きました。参加者は7名でした。朝8時出発して小倉から黒崎を経由して一路鹿島へ。11時30分に鹿島に到着しました。早速昼食の会場「鮎久ちゃん」で「鹿島蔵くら鍋」会席を賞味しました。特に蔵くら鍋の味は格別でした。別注で「鹿島の地酒飲み比べセット」を全員が注文して、三種の純米吟醸酒「鍋島」「光武」「蔵心」を飲み比べました。食後、祐徳稲荷神社にお参りし、優雅な巫女の舞を鑑賞し、その後は自由行動を楽しみました。続いて肥前浜駅へ戻り、地元ガイド付きで肥前浜宿の美しい街並みを散策し、最後に酒蔵で試飲や買い物をして帰路へ。午後7時前無事小倉に到着。楽しい旅でした。(藤原)



ワインを楽しむ会



12月18日(日)18時から「リップ」で開催。今冬一番の寒さ(最低気温1)でクリスマス気分は上々。本日のワインはクリスマス・ブルゴーニュ特集で、先ずは辛口のシャンパンで始まり、輝きのあるルビー色、エレガントな味わいの2012年もの、最後はややしっかりとした味わいの2014年もので今年の締めを。これに入江マスターの腕に撚りかけたクリスマスメニューがコラボして、参加者11名が今年最後の会を堪能したのち、プレゼント交換に入った。

これは、11回仕切り直す、ジャンケン勝ち抜きで、外の寒さは何処へやらの盛り上がりであった。ただ、講師の山下会員とは、FaceTimeでの参加であるため、飲食ともに味わって頂けないことが残念です。来年こそはご一緒にできますことを願っています。(古賀靖子)

川柳を楽しむ会

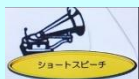
昨年5月発足した会は、ラインでのやり取りで楽しんでいます。一般的な川柳の会では、その出来具合により佳作、人位、地位、天位と選者によって位付けが行われます。しかし、私たちは競い合うのではなく、ラインをコミュニケーションツールとして、既成概念に捕らわれず「楽しみながら」思いつくままにパネルタッチしています。だからこそ！柔和な発想で、ダジャレも入りポジティブに、時には鋭い社会風刺も入ったプロバス川柳が生まれるのだと考えています。

私は選者としては未熟でございますが、一行で心震わせる川柳「天位」をご紹介します。

ホカロンをウクライナに送りたい 神田澄男

2023年は世界の平和をお祈りいたします。

(古賀えみ子)



「珍名さん」読めますか

No.68 神田 澄男

長い民生委員の経験をお持ちの神田澄男さんが、実在する人の珍しい名前の幾つかを紹介された。曰く [一]は“にのまえ(二の前)”さん、[九]は“いちじく(一字九)”さん、[九十九]は“つくも”さん(尤もつくもは広辞苑に出ている) [百]は“とど”さん、[十二月三十一日]は“ひなし(日がない)”さん等。

筆者所感……これ等の名前を貰った人の心境を想像するに、多くの場合苦痛に感じるケースが大ではないだろうか。中には得意に思っている人もあるだろうが。私見では子や孫の名をつける場合、第三者がストレートに呼んでくれるネーミングが最低の要件だと思うのだが如何だろうか。

なお、神田氏は古諺の現代版も紹介した。「犬も歩けば猫も歩く」「頭隠してアデランス」など。かるたの余韻には乏しいようだ。(竹原)

枯らしに負けず クリーンキャンペーン

冷たく強い風が吹く12月14日10時からセントシティ北側で恒例の「クリーンキャンペーン」が開催され、プロバスから6名の会員が参加。コロナ禍・寒中にも拘らず高校生を含め200名以上の参加があり、この行事もかなり定着した感がある。主催者等の挨拶の後、ゴミ袋や軍手を手に、写真を撮って町中に各人が散った。側溝蓋に張り付く落葉やたばこの吸い殻、公園の雑草等をゴミ袋へ。いっぱいになったゴミ袋等を公園で待ち受けるスタッフに返して、タオルとペットボトルをもらい、スッキリした気持ち?で帰途に着いたのでした。(内藤)

♪ シャンソンコンサートに行ってきました



12月14日に北九州芸術劇場小劇場で催された「リュネット シャンソンコンサート2022」に行ってきました。

テクニクだけでなくジャズもイケル素晴らしいピアニストの有り余る力がまるで異種格闘技のような演奏になっていましたが…。

その中でも古賀靖子さんの「マイ ウェイ」はシャンソンの神髄の語りを入れて心揺さぶられる歌でした。また二曲目の「哀しみのソレアード」はしみじみと人生を語った“オオトリ”に相応しい歌唱でした。

(植田)



【新会員紹介】

山下静江さん

くらしき作陽大学名誉教授。趣味は登山、読書ですが、自然に接すること等関心は多岐にわたります。自由の身になり、地域の人々や社会と繋がっていたいと思い入会しました。どうぞよろしくお願いします。

ありがとう BOX メッセージ 12 月分 (五十音順、敬称略)

★(植田) ★ありがとう (遠藤) ★1年間お疲れ様でした (大石) ★貧血入院治療気は燃えるようにある? (大川) ★寒くなってきましたが、寒さに負けない体力づくりを心がけましょう。(古賀靖) ★今年も良い年でした。来年はもっともっと (近藤哲) ★今年も押し迫りました。元気に新年を迎えましょう。(近藤弘) ★寒さに負けない様に頑張りましょう (柴村) ★(住) ★あっという間の1年でした。色々あったけど来年は良い年になりますように。(住吉) ★何とか越年出来るようです。(竹原) ★健康第一 (中山) ★いつも元気をありがとうございます。(藤原) ★今日は調子が悪い、聞こえが半分で困ります。(洞) ★感謝 (松永) ★(眞鍋) ★(安高)

収支報告

11 月末残高	84,266 円
12 月分収入	8,650 円
12 月末残高	92,916 円